

# 令和4年度の主な事業報告

社会福祉法人王寺町社会福祉協議会

## 社会福祉事業

令和4年度事業計画に基づき、それぞれの重点目標に従って、住民・福祉関係者・行政機関の合意形成・調整の場をつくり、地域のさまざまな課題や住民のニーズに対応したまちづくりに取り組んできました。また、住民、関係機関等が連携、協働し、誰もが安全に、安心して暮らすことのできる地域福祉を実現させるため、「第2期王寺町地域福祉計画・地域福祉活動計画」をもとに、地域福祉の実現に取り組んできました。

### 1. サロン活動の推進

令和4年度は2ヶ所の新規サロンの開設の後方支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら既存のサロン活動が再開・運営を実施できるように代表者会議を実施し、各サロンを訪問し状況を把握するとともにサロンについて運営者と問題点など話し合い運営支援を行いました。

〔サロン実施ヶ所数：18ヶ所〕

### 2. ボランティア活動の推進拡大

また、手話奉仕員養成講座「基礎編」を開催し、12名の受講者が参加し、7名が修了され今後のボランティア活動の推進につながる人材を育成しました。

自分たちの住んでいる地域を明るく、住みよくするためにどうしたらよいのかを考え、学び、共に生きる社会をつくるために、すすんで行動

することをボランティアといいます。社会福祉協議会では地域のボランティア活動を推進していくための支援を行いました。

○ボランティア保険

・ボランティア活動保険加入事務	7件	143人
・ボランティア行事用保険加入事務	11件	590人

### 3. 高齢化社会への対応の強化

- (1) 高齢者の健康保持増進、生きがい、仲間づくりの意識の高揚を図るため、グラウンドゴルフ大会（6／23・66人）（10／20・66人）を開催し、延べ132人が参加、身体や頭をフルに使い、心身ともにリフレッシュされ、健康の保持増進を図られました。

生きがいと仲間づくりとして実施されているクラブ活動においては、老人福祉センターで11、老人憩の家「片岡の家」で13、合計24クラブの方々が音楽・体操・踊り等により充実した時間を過ごされました。

- (2) 見守りの頻度が少ない独居、かつ介護保険サービス等の公的サービスを使用していない方を対象に、介護福祉士資格のある社協職員が、地域住民や民生児童委員からの協力により、生活状況の聞き取り・確認を行い、関係機関との連携による包括的な支援の輪により、適切なサービスへとつないでいます。

〔R4年度：実人数 211人・訪問回数 603回・電話 123回〕

〔R3年度：実人数 210人・訪問回数 713回・電話 162回〕

また、文化福祉センターで、介護予防についての相談会を開催しました。

〔R4年度：年6回 4件（電話相談を含む）〕

〔R3年度：年6回 7件（電話相談を含む）〕

#### 4. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）の推進

高齢者や障害により判断能力が低下し、生活に不安がある方に対し、相談援助や福祉サービス利用支援・金銭管理・書類の預かりサービス等を行い、地域で安心して生活できるよう支援しました。

[R 4年度：相談件数 1件・利用者 2人]

[R 3年度：相談件数 4件・利用者 3人]

#### 5. 共同募金委員会活動の推進

##### (1) 共同募金運動

地域及び在宅福祉の強化を目的に、10月1日から全国一斉に実施され、王寺町でも自治連合会、民生児童委員協議会等、各種団体の協力を得て街頭募金、戸別募金により募金活動を展開し、多くの方々から善意ある寄附をいただきました。

令和4年度	目標額	1,522,000円
	募金総額	1,419,738円
	配分金	783,738円 (R5受入)

##### (2) 歳末たすけあい募金運動

自治連合会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会をはじめ各種団体の協力により街頭募金活動等を展開し、多くの方々の温かい善意が寄せられ、準要保護家庭のお子さんやひとり暮らし高齢者へ歳末訪問金・見舞品として配付いたしました。

＝令和4年度 歳末たすけあい募金 活動実績＝

◎募金総額		431,228円
内訳	街頭募金	22,699円
	各種団体等	381,799円
	カレンダーバザー	26,730円

◎歳末たすけあい事業 947,520円

準要保護家庭歳末訪問金（107世帯、子ども234人）

702,000円

ひとり暮らし高齢者歳末お見舞い（マスク891セット）

245,520円

## 6. 広報活動の強化及び会員の増強

地域における福祉活動推進の中核となる社会福祉協議会が地域に密着した福祉活動を安定して推進できるよう、財政基盤を強化し、地域住民の福祉ニーズに応えるため、関係法人に特別会員として社会福祉活動に参加していただくようお願いし、また、自治会を通じ、賛助会員の加入・会費納入の協力について呼びかけを行いました。

正会員 21人（理事・監事、評議員）

賛助会員 各自治会

合計 1,047,300円

## 7. 生活困窮者相談

### (1) 生活福祉資金

低所得世帯を対象とした教育支援資金、失業による生活困窮世帯に対し、再就職までの間の自立を支援する臨時特例つなぎ資金等、各種生活福祉資金の相談や申込み等の業務を行いました。また新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等により生活費が減少した方に対し、相談支援及び貸付を実施しました。

＝相談・貸付件数＝

		相談件数	貸付件数
緊急小口資金（特例）			16件 (58件)
総合支援資金 （特例）	初回貸付	54件 (192件)	17件 (45件)
	延長貸付		— (16件)
	再貸付		— (52件)
福祉資金		5件 (6件)	3件 (2件)
教育支援資金		1件 (3件)	1件 (1件)
不動産担保型生活資金		0件 (1件)	0件 (0件)
緊急小口資金		7件 (1件)	2件 (1件)

※（）内はR3年度実績

(2) やわらぎ金庫資金の貸付・フードレスキュー

緊急・臨時的に生活資金を必要とする低所得世帯に対して、その自立を支援することを目的に、独自の貸付を行いました。また緊急の食糧支援を必要とされている方にはフードレスキュー事業を行いました。

	相談件数	実施件数
やわらぎ金庫資金	3件 (4件)	3件 (4件)
フードレスキュー対応件数	11件 (18件)	11件 (18件)

※ ()内はR3年度実績

(3) 生理用品の無償提供

新型コロナウイルス感染症の影響等による経済的な問題で生理用品の購入が困難になっている方へ支援として社協窓口、地域交流センターにおいて生理用品を提供しました。

[提供件数 19セット]

(内訳、社協窓口3セット・地域交流センター16セット)

8. 物品貸出し業務

車椅子を要介護者の外出や学生への福祉教育等の用途で貸し出しています。また、コロナ禍のため利用が少ないですが綿菓子機・ポップコーン機・みたらし団子機・鉄板台等は、自治会・子ども会などの催し時に幅広く活用いただいています。

貸出品	綿菓子機	ポップコーン機	輪投げ	みたらし団子機 たこ焼き機
件数	2	1	5	0
貸出品	氷かき機	鉄板台	車椅子	合計
件数	1	0	31	40

## 9. 心配ごと相談所の開設

別添「令和4年度 王寺町心配ごと相談所 事業結果」を参照

## 10. その他

### (1) 老人福祉センター等管理・運営

老人福祉センター・老人憩の家「片岡の家」は、多くの高齢者の方々の憩いの場として、気軽に楽しく安心してご利用いただける地域福祉推進の拠点として、適正な運営に努めています。

＝令和4年度 老人福祉センター等利用状況＝ (人)

	個人利用者	団体利用者	計
老人福祉センター	5,696 (4,582)	696 (667)	6,392 (5,249)
老人憩の家「片岡の家」	3,432 (3,145)	1,774 (1,387)	5,206 (4,532)

※ () 内はR3年度利用者数

### (2) 「我が事・丸ごと」の地域づくり

国庫補助事業である「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業を王寺町社会福祉協議会が受託、サロン等の集う場を中心に多様な相談を「丸ごと」受け止め適切な解決法につなぐ相談体制づくりや、他人事になりがちな地域の困りごと解決を「我が事」として地域住民が主体的に取り組む意識づくりを行っています。

### (3) 苦情受付処理に関すること

・苦情受付体制 受付担当者 1名 解決責任者 1名 第三者委員 3名

・苦情受付件数 0件

公益事業 なし

収益事業 なし